

コミュニティ・スクールだより

～ 目指す子ども像 『自信をもち自分の力を発揮する子』 ～

地域を元気にしたい！「思い」をもった取組

地域社会のつながりが薄れ、「地域で育てる子ども」という考え方が失われつつある中、岳洋学舎では、子どもに積極的に関わり、地域を元気にしたいと「思い」をもって取り組む多くの皆様がいまいます。「思い」をもった学舎の連携・協働の取組を紹介します。

フラワーパワーアップ大作戦 小笠北小3年【学びの庭】



下平川地区の塚本隆男さんは、花の力でみんなを明るく元気にしたいと思い、地域の人と一緒に石ころばかりだった校庭の一角に新しい花壇をつくりました。9月のスポーツフェスタでは、子どもたちと育てた満開のコスモスを多くの来校者に楽しんでいただきました。子どもたちのアンケート結果では、「楽しかった」「大きくなってうれしい」「気持ち明るくなった」という元気が出る前向きな感想が増えました。「花を見ると3つの幸せホルモン(ドーパミン・オキシトシン・セロトニン)が分泌され、ストレスが和らぎ幸せ気分とやる気がアップする」と塚本さんが言うとおりに、子どもたちの笑顔がたくさん見られました。子どもたちの笑顔は、わたしたち大人を元気にしてくれます。

昔の人々の知恵や工夫を伝える山西郷土資料館



小笠南小3年【学びの庭】

3年生が、社会科「昔の物調べ」の学習で、山西郷土資料館へ見学に行きました。地区の皆様丁寧な説明に、子どもたちは積極的に質問し、一所懸命メモをとりました。昔の人々の知恵や工夫に気付いたり、当時の人々の願いを考えたりできました。

資料館は、郷土の歴史と文化を学び、郷土への愛着を生み出す大切な場所だと思います。「郷土の宝」を次世代に保存・継承する山西の皆様、ありがとうございます。

地元企業とコラボ企画 プロジェクト「地域を笑顔に」



小笠東小6年【学びの庭】

6年生は、総合的な学習の時間「チャレンジ」で、地域を笑顔と元気にする学習計画を立てました。小笠東小卒業生の赤堀社長の理念である「地域貢献」と合致し、赤堀社長には、子どもたちの思いやアイデアを形あるグッズ(児童作キャラクター入りたすき・トートバック)にしてもらいました。グッズの贈呈式には(株)コモードの社長にも参加していただき、地域に笑顔と元気を届ける第一歩を踏み出しました。コラボ企画で実現した

グッズをとおして、笑顔と元気の源「ペコリあいさつ」をますます広めることができることでしょう。(今年度は赤堀社長から、たすき 350 本、トートバック 50 個を無償で提供していただきました。)

地域の安全安心に力を発揮する岳洋中生【学びの庭】



12月1日(日)岳中生が、地域防災訓練で、三角巾での応急手当の方法や消火器による消火訓練の指導など、積極的に行動しました。被災時に自分たちがどのように行動すればよいかを考え、具体的な技術や知識を学んだ学校の防災学習の成果を発揮することができました。

中学生は明日の地域のリーダー。地域を支える頼もしい存在として中学生に期待が寄せられています。

(文・大石)